(右)大腿骨近位部骨折人工骨頭挿入術を受けられる方へ(当日)

経　過	（入院～術前）　　1日目（手術日）　　（術後）		2日目～3日目（術後1～2日）	4日目～9日目（術後3～8日）	10日目（退院）
達成目標	手術について理解できる 手術の準備ができる	痛みが最小限で 過ごすことができる	合併症がなく リハビリが開始できる	リハビリができる 日常生活動作ができる	転院ができる
治療・薬剤 （点滴・内服）	・本日手術です ・点滴をする場合があります ・普段使用しているお薬等を確認します ・お薬に関してご質問があれば気軽に薬剤師に声をおかけください ・手術当日は、必要なお薬以外は中止します	・点滴があります	・点滴があります ・お薬を再開します	・静脈血栓塞栓症予防薬が処方されます ・骨粗鬆症を予防するお薬が処方されます	
処　置	・弾性ストッキングを着用します（深部静脈血栓予防）	・酸素吸入をします		・手術後7日目頃、傷の処置をします ※傷の状態により処置日が前後する場合があります	
検　査	・血液検査を行います		・術後1日目、3日目、7日目に血液検査、　術後7日目にレントゲン撮影、骨密度の検査を行います		
安静度・リハ	・ベッド上安静です	・ベッドの頭側を30度くらいまで挙げることができます ・股関節の脱臼予防のために、両足の間に枕をはさみます ・痛みのない範囲内で、足を動かしてください（筋力アップ、深部静脈血栓予防、腓骨神経麻痺予防）	・理学療法士による訓練が始まります ・ベッドを起こして座る姿勢を多くとってください ・ベッドから足を垂らして座る練習⇒車椅子の乗る練習をします ⇒歩行器を使用し立ったり歩く練習をします 　※リハビリには個人差があり、計画書通り進まない場合もあります ・術後3ヶ月間は股関節の脱臼の恐れがあります ・リハビリ開始時に注意して欲しい姿勢について説明します ※両足の間に枕をはさんで寝るようにしましょう	【禁止肢位】 ・股関節を極端に曲げる ・足を反対側の足に近づける（股関節の内転） ・ひざを外側に向ける（股関節の外転） 	
食　事 栄養指導	・入院中に、食事に関してご質問があれば管理栄養士が伺いますので、気軽に声をおかけください ・食事、水分制限について説明があります	・飲水の許可がでたらお知らせします	・朝から食事が始まります		
清　潔	・歯みがき、うがいをして清潔にしましょう		・朝は洗面用おしぼりを配ります ・食後、歯みがきの準備をします ・シャワーができるまで、看護師が身体を拭きに伺います	・車椅子や歩行器歩行が可能になれば、洗面所を使用します ・洗髪ができます ・術後3日目頃から傷を防水保護して介助でシャワーができます	
排　泄	・尿をだすための管が入ります		・尿の管を抜きます（必要時尿器、ポータブルトイレを設置します）	・車椅子や歩行器が可能になれば、トイレを使用します	
患者さん及び ご家族への説明	・入院診療計画書をお渡しします ・退院支援スタッフが入院前の生活や今後についてお話を伺います ・必要物品、同意書を確認します ・麻酔科医より麻酔について説明があります ・入院中は、顔色や爪の色を観察しますので化粧や手足のマニキュアなどはしないでください ・コンタクトレンズ、時計、指輪、ピアスなど貴金属類は外しておいてください ・貴重品はご自身で保管してください ・ご家族の待機場所を説明します ・タバコは吸わないでください	※術後、主治医から説明があります	・転院先の検討を始めます ・2次性骨折予防について説明を行います ・入院中に、薬剤師より静脈血栓塞栓症予防薬について説明があります	・手術した足には、痛みに応じて体重をかけてかまいません	・主治医の許可がでれば退院となります（午前中の退院をお願いしています） ・退院療養計画書をお渡しします ・退院後の生活について説明をします ・2次性骨折予防についてご家族に説明を行います
備　考	・不安なこと、不明な点は看護師にお伝えください ・医療費については入院フロア担当事務職員にご確認ください	※手術後の痛みや吐気、発熱などの症状が起こることがあります 我慢せずに看護師にお知らせください			※退院される時は、看護師にお知らせください

注1）病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2）入院期間および検査日については、現時点で予測されるものです。

高知医療センター
高知市池2125-1　〒781-8555
TEL：(088)837-3000　FAX：(088)837-6766
URL：https://www2.khsc.or.jp/